

陳情第13号

式見中学校を小江原中学校へ統合することに関する陳情書

平成30年9月7日

長崎市議会議長
五輪 清隆 様

陳情人

長崎市式見町461番地7

式見地区連合自治会長 浅川 長

電話番号



議会事務局議事調査課



式見中学校を小江原中学校へ統合することに関する陳情

1 陳情の趣旨

長崎市議会議長様をはじめ、議員の皆様方におかれましては、日ごろから、式見地区の発展にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

現在の式見中学校は、全校生徒が19人の2学級となっています。今年3月に式見小学校を卒業した10人すべてが、小江原中学校をはじめ他の中学校へ進学しました。

小学校、中学校ともにクラス替えがないことから、9年間にわたり、限られた友人たちの間で毎日の学校生活を過ごすことになり、新たな友人をつくったり、色んな意見にふれたりすることが難しくなっています。

また、部活動も選択肢が少なく、体育や音楽などの集団での学習に心配な中では、式見小学校の卒業生の多くが式見中学校ではなく、小江原中学校へ進学している実態も理解できます。

昨年、式見小・中学校それぞれのPTAにおいて「平成32年4月に式見中学校を小江原中学校へ統合すること」で意見がまとめられました。

私たち地域においても、教育委員会と将来の子どもたちの教育について議論し、学校がなくなることでの地域行事への影響など様々な意見を交わしてまいりました。

保護者からは子どものことを考え、苦しみ、悩んで出した結論なので統合してほしいと涙ながらに訴える場面もございました。

今年2月に開催した式見地区連合自治会定例会で、16自治会の意思を確認した結果、賛成多数で「平成32年4月1日に式見中学校を小江原中学校へ統合することはやむを得ない」という結論に至り、3月には、式見小、中学校PTA、及び式見地区連合自治会の三者連名で、長崎市教育長様へ「式見中学校の統合についての要望書」を提出しました。

式見中学校は、地域の中で慣れ親しんだ歴史や伝統のある学校であり、学校がなくなると地域の衰退に繋がるのではないかと心配する声もありましたが、式見の将来を担う子どもたちの教育環境をいち早く改善するために、苦渋の判断を行いました。

保護者の願いは切実であり、今からの子どもたちのことを考えると、小江原中学校との統合を少しでも早く決定していただきますよう、陳情いたします。

併せまして、式見地区は、新しい地域コミュニティのモデル地区として、既に地域コミュニティ連絡協議会を立ち上げ、活動を行っているところです。私たちといたしましても、式見地区の活性化に向けて地域全体で取り組んでまいりますので、学校統廃合により式見地区が衰退することのないよう、格別のご配慮をお願い申し上げます。

2 陳情項目

式見中学校を小江原中学校へ統合することについて、早期にご決定いただきますようお願いいたします。